

# マルチプレイに挑戦！ その④ 航空管制を受けて飛ぶ

前回まではVATSIMの紹介から接続方法までをお話しました。

今回は実際に羽田—大阪間を飛行するモデルフライトで、飛行の手順や管制の実際をご紹介します。

## 羽田—大阪間のフライト

〇月×日15時 東京羽田空港の天候は雨、風330.07ノット、視界はやや不良のコンディションではあるが、Landmark113便B747-400にて大阪へ向けて出発する。シップはすでに準備を完了し、スポットに待機中だ。



VATSIMへの接続を終了し、出発の前にフライトプランの記入する。出発形式はURAGAを通り大島へぬけるURAGA5デパーチャ、大島トランジション、高度24000 (FL240)と決めた。Squawk Boxのメニューからフライトプランを選択し、図のように記入して「SEND」を押し送信する。



ATCディレクトリにて今の時間に開いている管制圏を確認する。東京タワーが開局中だ。コンタクトしてフライトプランの承認を受ける。

パイロット (以下P) : 「Tokyo Tower, Landmark113, good evening」

管制官 (以下C) : 「Landmark113, Tokyo Tower, good evening go ahead?」

P : 「Tokyo, Landmark113, Request Clearance to Osaka International Airport proposing FL240 spot 9.」

C : 「Landmark113, Cleared to Osaka via Uraga5 Departure OSHIMA Transition then flight planned route maintain flight level 240 squawk 3301」

P : 「(復唱)」

C : 「Landmark113, read back is correct, advise when ready for pushback」

P : 「Roger advise when ready for pushback, Landmark113」

もちろん、これらは実際の音声を使ってやり取りされる。お互い日本人なので多少のBrokenはご愛嬌だ。フライトプランの承認が終わると、受けとったスークコードをトランスポンダーに入力する。すでにドアクローズ、プッシュバック準備も完了しているので、続けてプッシュバックをリクエストする。

P : 「Tower, Landmark113, Request pushback information Yankee.」

C : 「Landmark113, pushback approved runway 34R.」

P : 「Pushback runway 34R, Landmark113」  
グラウンドにプッシュバックを伝え、シップが動き始めるとエンジンスタート。4つのエンジンが唸りを上げると、グラウンドから「All Disconnect」のコール、エンジンのスタビライズを確認してTaxi Outのリクエストをする。

P : 「Tower, Landmark113, request taxi.」

C : 「Landmark113, taxi to runway 34R, via inner J3 outer, hold short of runway, 34R advise when ready for departure.」

P : 「Roger taxi to runway 34R via inner J3 outer and hold short, advise when ready, Landmark113.」

今日の出発滑走路は35R、滑走路端までTaxiすると、Cabinの準備も完了し離陸準備完了となった。

P : 「 Tower Landmark 113, ready for departure.」

C : 「Landmark113, Wind 330 at 7, cleared for take off runway 34R.」

P : 「Cleared for take off runway 34R, Landmark113」

スラストレバーを前方に押し出し、スタビライズを確認すると一気に離陸推力までエンジン出力を上げる。シップはゆっくりと前進し始め、やがて「V1」「VR」のコールが聞こえる。操縦桿をゆっくり引き上げると機体は空へと舞い上がった。

C : 「Landmark113, Contact departure. Good day !」

P : 「Contact departure Landmark113. Good day」

ディパーチャへのハンドオフ(移管)だ。ATCディレクトリーから東京アプローチにコンタクトする。ディパーチャが開局していない場合はアプローチが代わりにしてくれるので、この場合アプローチが出発管制を担当する。

P : 「Approach, Landmark113, airborne now leaving 1500 for FL240.」

C : 「Landmark113, Tokyo approach roger radar contact, turn Right heading 180 for vector to URAGA, climb and maintain FL 240」

P : 「Turn Right heading 180, c/m FL240, Landmark113.」

さらにさらに矢継ぎ早にヘディングの支持が来る。

C : 「Landmark113, turn Right heading 220.」

P : 「Right heading 220, Landmark113.」

C : 「Landmark113, proceed direct URAGA.」

P : 「Roger proceed direct URAGA, Landmark113.」

高度も1万フィートを過ぎ、房総半島が雲間から眼下に広がり始めると、東京コントロールへのハンドオフが来た。

C : 「Landmark113, contact Tokyo Control 124.55 good day.」

P : 「Landmark contact Tokyo Control 124.55 good day sir.」

(以下 つづく)